

新年のご挨拶

太田市医師会長 小島 章

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様方におかれましてはお健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。本年が平和な年であることを心より祈念しております。

今年も国の内外において問題山積の年であり、民主党も自民党も内向きの争いで日本を混迷に陥らせぬよう、菅内閣はしっかり国の舵取りをしていただきたいところです。日本は経済ばかりでなく、政党政治がすっかり「貧困化」し、国難に対処できないのでは困ります。国益を十分に考慮し、国力を増し、財源を確保して、国民の生活を良くする予算・政策を採用し、教育やモラル、社会の劣化を食い止めていただきたいものです。

医療の面では昨年4月に診療報酬の改定があり、10年ぶりに、総体では0.19%のプラスということになっておりますが、病院の取り分を増やし、開業医の取り分を減らす方法では医療の現場の崩壊が進むばかりです。来年に来たる次回の改定では、国民の理解を得て、医療、介護の財源をなんとしても増額して、救急医療、産科小児科医療、がん対策、認知症等の高齢化対策等の充実を図りたいものです。

さて、太田市では、基幹病院の総合太田病院の移転新築が懸案でありました。太田市と群馬県より総額73億円の注入を受ける予定にて、昨年10月29日に起工式があり、平成24年3月完成を目指しております。救急医療の充実、病病連携、病診連携、かかりつけ医事業を進展させるために、太田市と太田市医師会と、救急を担う6病院と共に、新たに太田市救急医療施設連絡協議会を去る10月26日に発足させ、市民が急病時にできるだけ地元で対応できるよう対策を練りたいと存じます。太田市平日夜間急病診療所は、昨年度は3126人を診療し、社会的責任を果たしております。

太田市医師会は、昨年創立50周年を迎え、記念誌を発刊し、11月7日の記念式典を、鶴谷県医師会長先生をはじめ多数の郡市医師会長先生、来賓の皆様と関係者の皆様のご列席を賜り、盛大に開催させていただき厚く御礼申し上げます。また、本年は進学課程を採る太田看護専門学校が、創立40周年を迎え、記念誌を発刊し、今年10月22日（土）に記念式典を開催する予定です。新公益法人化への対応も医師会の将来を考える上で重要な課題です。一般法人と公益法人等の長所、短所を十分に検討して決定しなくてはなりません。いずれにせよ、これからも地域の方々が安心、安全の医療を受けられるよう、地域医療の充実に務め、住民の生命と健康を守る使命を全うすべく頑張りたいと存じます。今後ご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

結びになりますが、群馬県医師会、太田市医師会、関係各位のご活躍、ご健勝、ご多幸を心より祈念申し上げ年頭の挨拶とさせていただきます。

平成23年1月